

単元名 おんがくランド(2)

配当時間 5時間

- 単元の目標 (1) 曲想と旋律の流れなど音楽の構造との関わりに気付くとともに、互いの歌声や伴奏を聴いて、声を合わせて歌ったり、演奏したりすることができる。
- (2) 旋律やリズム、強弱、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、歌ったり演奏したりする技能を身に付けることができる。
- (3) 音楽が表している情景を想像することや、リズムに合わせて体を動かすことに興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとする。

標準的な展開例

01070205_001

【教材名】 どんなゆめ (歌唱) (P. 60～P. 61) おんがくのおくりもの (歌唱) (P. 67) さ
 んぼ (歌唱) (P. 68～P. 69) おとのマーチ (歌唱 器楽) (P. 61)

【準備等】 範唱CD, カスタネット, タンブリン, 大太鼓, 小太鼓, 鈴 など

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 様子を想像しながら「どんなゆめ」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱を聴いて「どんなゆめ」を歌う。 ★ どうぶつの ゆめを かんがえて うたおう ○ 話し掛ける役と動物役に分かれて歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 教師 対 児童 ・ 列ごと など <p>2 リズムにのって「音楽のおくりもの」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱に合わせて「音楽のおくりもの」を歌う。 ★ リズムに のって うたおう ○ 繰り返しの気を付けて、聴唱法で歌う。 ○ リズムに合わせて手拍子を付けて歌う。 <p>3 足踏みや身体表現をしながら「さんぼ」を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱を聴いて「さんぼ」を歌う。 ★ あしぶみや からだをうごかしながら うたおう ○ 歌詞に合った動きを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 一本橋 ・ でこぼこ砂利道 ・ きつね ・ たぬき ・ とかげ ・ へび など ○ 身体表現をしながら「さんぼ」を楽しく歌う。 <p>4～5 音にふさわしい楽器の音を探しながら「おとのマーチ」を歌ったり、演奏したりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 範唱を聴いて「おとのマーチ」を歌う。 ★ きよくにあった おとを みつけよう ○ 歌詞に出てくる音を確認する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 大きな音 ・ かわいい音 ・ ふしぎな音 ○ グループで「おとのマーチ」の合唱奏をする。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「大きな音グループ」 ・ 「かわいい音グループ」 ・ 「ふしぎな音グループ」 ○ 言葉に合った音の出し方や歌い方をグループで工夫する 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歌詞に出てくる動物の夢について話し合わせる。 ・ 話し掛ける役はどんな気持ちで話し掛けるとよいか考えさせるとよい。 ・ 動物役は身体表現を付けさせてもよい。 <p>【共通事項】 旋律</p> <p>【評】 曲想と旋律の流れなど音楽の構造とを関わらせて歌う活動を通して「知識」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ スイングするリズムを感じ取って聴かせる。 <p>【共通事項】 リズム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 範唱に合わせて教科書を指でなぞらせ、繰り返すところを確認させる。 ・ 「イ」から曲の雰囲気が変わることに気付かせる。 ・ 範唱に合わせて明るい声で歌わせる。 ・ 体を揺らしたり、リズムをとったりしながら楽しい雰囲気の中で歌わせる。 ・ 手拍子は範唱に合わせて繰り返し打たせるとよい。 <p>【評】 互いの歌声や伴奏を聴いて声を合わせて歌う活動を通して「技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 足踏みをしたり、身体表現しながら楽しく歌わせる。 ・ 歌詞を取り上げ、どんな動きをするとよいか話し合わせる。 ・ グループごとに振り付けを工夫させてもよい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ P. 69の手話を参考にさせてもよい。 <p>【評】 音楽が表す情景を想像しながら、リズムに合わせて体を動かす活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 体を動かしながら楽しく歌う。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ音の感じを選んだ者同士で、4～5人のグループを作らせる。 ・ グループで楽器を選び、歌いながら繰り返し試させる。 ・ 音に集中できるような場を工夫する。 ・ 楽器の種類だけでなく、打ち方や歌い方も工夫させる。 <p>【共通事項】 音色 強弱</p> <p>【評】 旋律やリズム、強弱、楽器の音色を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ</p>

○グループごとに「おとのマーチ」を発表する。

を感じ取りながら，曲想にふさわしい表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を工夫する。

- ・友達の演奏を聴き合うことによって，音への関心を更に高めさせる。
- ・友達の演奏のよいところを発表させるとよい

【 備 考 】